

## 4 . 6 その他の毒ガス弾等に関連する情報

#### 4.6 その他の毒ガス弾等に関連する情報

毒ガス弾等に関する情報について、関係省庁及び都道府県等へ情報提供を依頼し、国内外の資料を幅広く収集する中で、下記の通り潜在的な健康被害の可能性が低いと考えられる事例も多数含まれていたことから、以下に関連する情報として整理した。

##### (1) 旧軍毒ガス弾等の野外実験

陸軍を中心とした旧軍毒ガス弾等の野外実験に関する情報であり、保有および廃棄・遺棄に関する情報と比較して、使用された毒ガス弾等は少量であり、毒ガス弾等はほぼ全量使用されていた可能性が高い。そのため、現時点では潜在的な健康影響の可能性が低いと考えられる。

##### (2) 旧軍毒ガス弾等の交付

陸軍における旧軍毒ガス弾等の交付に関する情報であり、毒ガス弾等が一時的に保有されていたと考えられる。ただし、交付後に毒ガス弾が移動もしくは、実験等により使用された可能性が高く、終戦時に交付場所に保有されていた情報には直接関連しないと考えられる。そのため、現時点では潜在的な健康被害の可能性が低いと考えられる。

##### (3) 旧軍施設

旧軍施設に関する情報であり、戦時中および終戦時において、毒ガス弾等と直接関係する資料がない施設である。

##### (4) その他の情報

上記(1)(2)(3)に該当しないその他の関連情報であり、現時点では潜在的な健康被害の可能性が低いと考えられる情報である。

別表1 日本陸軍による毒ガス関連の野外実験

時 期	内 容	場 所
1918 (大正7) 年6月	毒ガス弾第1回予備発射試験	愛知県伊良湖
1918 (大正7) 年7月	毒ガス弾第2回予備発射試験	愛知県伊良湖
1918 (大正7) 年8月	毒ガス弾第4回予備発射試験	愛知県伊良湖
1925 (大正14) 年12月	ホスゲン弾静止破裂効力試験	愛知県伊良湖
1926 (大正15) 年3月	ホスゲン効力試験	大分県日出生台
1926 (大正15) 年8月	ホスゲン効力試験	北海道美瑛
1926 (大正15) 年10月	ホスゲン弾集中射撃効力試験	北海道美瑛
1926 (昭和1) 年12月	イペリットに対する地下構造物集団防護試験	千葉県八柱
1927 (昭和2) 年1月	ガス弾体試験	愛知県伊良湖
1927 (昭和2) 年5月	イペリット効力試験	宮城県王城寺原
1927 (昭和2) 年6月	イペリット弾静止破裂試験	宮城県王城寺原
1927 (昭和2) 年9月	特種弾効力試験	静岡県富士裾野
1928 (昭和3) 年1月	ホスゲン・イペリット寒地試験	北海道美瑛
1928 (昭和3) 年9月	イペリット撒毒試験	新潟県関山
1929 (昭和4) 年1月	ホスゲン・イペリット実地試験	北海道美瑛
1929 (昭和4) 年8月	森林・谷地撒毒(消毒)試験、ホスゲン弾 静止破裂効力試験	北海道当麻
1929 (昭和4) 年9月	イペリット撒毒持久効力試験	北海道当麻
1930 (昭和5) 年5月	草地撒毒(消毒)試験	宮城県王城寺原
1933 (昭和8) 年12月	ガス弾効力試験	静岡県富士裾野
1933 (昭和8) 年12月	ガス防護研究演習	宮城県王城寺原
1934 (昭和9) 年2月	青酸寒地試験	北海道美瑛
1934 (昭和9) 年5月	持久ガス撒毒実験	群馬県相馬ヶ原
1934 (昭和9) 年9月	一時性ガス実験演習	静岡県富士裾野
1934 (昭和9) 年9月	ガス雨下・対雨下研究演習	静岡県天竜川河 口中州
1935 (昭和10) 年7月	化学戦研究演習	青森県山田野
1936 (昭和11) 年7月	ガス雨下・対雨下研究演習	新潟県関山
1936 (昭和11) 年7月	特種弾研究射撃演習	青森県山田野
1937 (昭和12) 年8月	迫撃砲研究射撃演習	宮城県王城寺原
1937 (昭和12) 年11月	ガス雨下研究演習	静岡県浜松
1938 (昭和13) 年9月	陸軍野砲学校・習志野学校・科学研究所連合研究 演習	静岡県富士裾野
1940 (昭和15) 年2月	携帯噴射機実用試験	静岡県滝ヶ原
1940 (昭和15) 年2月	戦車に対する効果の実地試験	村松村

別表 1 日本陸軍による毒ガス関連の野外実験

1940 (昭和 15) 年 3 月	特火点における瓦斯効力の判定実験 地下構造物の集団防護試験	千葉県東葛飾郡
1940 (昭和 15) 年 5 月	ガス研究演習	新潟県関山
1941 (昭和 16) 年 2 月	軽迫撃砲射法研究演習	静岡県板妻
1941 (昭和 16) 年 4 月	春季除毒効力研究演習	千葉県習志野原
1941 (昭和 16) 年 5 月	軽迫撃砲研究射撃演習	静岡県富士裾野
1941 (昭和 16) 年 6 月	重あを弾射撃演習	静岡県富士裾野
1942 (昭和 17) 年 7 月	応用制毒予備研究	千葉県習志野
1942 (昭和 17) 年 10 月	応用制毒研究演習	宮城県王城寺原
1944 (昭和 19) 年 3 月	対雨下研究演習	静岡県浜松
1944 (昭和 19) 年 11 月	対青酸雨下基礎試験	千葉県習志野
1945 (昭和 20) 年 6 月	大量雨下に対する防護研究	宮城県王城寺原

「陸軍科学研究所及第六陸軍技術研究所に於ける化学兵器研究経過の概要(第一案)」(1956年6月複写)、「化学戦研究史」(1956年10月複写)、『本邦化学兵器技術史』(技研資第31号、1958年)、『陸軍習志野学校』(1987年)、「伊良湖射場歴史」自1916年3月至1922年10月、「特種弾効力試験要領」1927年9月、「特種研究射撃演習記事」(『密大日記』1937年第9冊所収)、「富士連合研究演習記事」(『密大日記』1938年第13冊所収)、「昭和15年密大日記第8冊「戦車に対する瓦斯噴射基礎試験要領」」昭和15年密大日記第8冊「特火点に対する瓦斯及火焰噴射並に瓦斯滞留試験要領」

別表2 毒ガス弾等の交付

No	事案コード	資料名	概要	備考
1	岩手	1	教育総監部起案「昭和十四年度甲種幹部候補生演習用弾薬支給ノ件」1939.11.23（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	盛岡予備士官学校にきい1号140kg、きい2号70kg、97式あか筒100本、98式あか筒650本交付。
2		2	教育総監部起案「昭和十五年度下士官候補者教育用弾薬支給ニ関スル件」1940.7.3（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	盛岡予備士官学校に89式催涙筒甲300本、89式催涙棒10函、98式あか筒20本交付。
3	宮城	1	教育総監部起案「演習用弾薬特別支給ノ件」1935.4.18（『大日記 乙輯』1935年第2類第2冊）	きい1号1,700kgを陸軍習志野学校に交付（交付地：宮城県王城寺原陸軍廠舎/千葉県を經由して宮城県へ交付）
4		2	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	仙台陸軍教導学校に、きい1号甲200kg、きい2号50kg、試製98式小あか筒150本、89式催涙筒甲600本交付
5		3	教育総監部起案「昭和十四年度甲種幹部候補生演習用弾薬支給ノ件」1939.11.23（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	仙台教導学校にきい1号50kg、きい2号50kg、97式あか筒50本、98式あか筒300本交付。
6		4	教育総監部起案「昭和十五年度下士官候補者教育用弾薬支給ニ関スル件」1940.7.3（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	仙台教導学校に89式催涙筒甲300本、89式催涙棒8函、98式あか筒20本交付。
7		5	教育総監部起案「演習用弾薬特別支給ノ件」1935.4.18（『大日記 乙輯』1935年第2類第2冊）	きい1号1,700kgを陸軍習志野学校に交付（交付地：宮城県王城寺原陸軍廠舎）
8	茨城	1	陸軍航空本部起案「瓦斯教育用弾薬特別支給ニ関スル件」1940.3.9（『密大日記』1940年第15冊）	水戸陸軍飛行学校にあか筒20本、きい1号200kg、きい2号200kg、催涙筒200本を交付。
9		2	陸軍航空本部起案「弾薬特別支給ニ関スル件」1940.11.18（『大日記 乙輯』1940年第2類第4冊）	水戸陸軍飛行学校に、98式小あか筒300本、きい1号300kg、きい2号300kg交付。

No	事案コード	資料名	概要	備考	
10	東京	1	臨時毒瓦斯調査委員起案「瓦斯弾下付ノ件」1921.2.9 (『大日記 乙輯』1921年第2類第5冊)	38式野砲瓦斯弾々丸15発	
11		2	理化学研究所起案「塩素瓦斯缶下付ノ件」1921.9.8 (『大日記 乙輯』1922年第2類第2冊)	塩素瓦斯缶22個を理化学研究所に交付	
12		3	陸軍科学研究所起案「瓦斯弾下付ノ件」1925.4.2 (『大日記 乙輯』1925年第2類第2冊)	38式野砲用瓦斯弾10発・十五榴弾瓦斯弾5発を陸軍科学研究所に交付	
13		4	陸軍科学研究所起案「毒瓦斯下付ノ件」1925.5.15 (『大日記 乙輯』1925年第2類第2冊)	臭素200キ口を陸軍科学研究所に交付	
14		5	陸軍科学研究所起案「毒瓦斯下付ノ件」1926.9.15 (『大日記 乙輯』1926年第2類第4冊)	臭素200キ口を陸軍科学研究所に交付	
15		6	陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1927.11.28 (『大日記 乙輯』1927年第2類第3冊)	臭素500キ口を陸軍科学研究所に交付	
16		7	陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1928.5.23 (『大日記 乙輯』1928年第2類第3冊)	臭素300キ口を陸軍科学研究所に交付	
17		8	陸軍科学研究所起案「臭素下付ノ件」1928.12.15 (『大日記 乙輯』1928年第2類第3冊)	臭素1765ポンドを陸軍科学研究所に交付	
18		9	教育総監部起案「特種弾薬特別支給ノ件」1934.3.3 (『大日記 乙輯』1934年第2類第2冊)	89式みどり筒甲24本を陸軍自動車学校に交付	
19		10	陸軍科学研究所起案「弾薬類下付ノ件」1934.4.14 (『大日記 乙輯』1934年第2類第2冊)	92式75mmきい弾200発を陸軍科学研究所に交付。	

No	事案コード	資料名	概要	備考
20	東京	11	陸軍科学研究所起案「弾薬下付ノ件」1934.9.17（『大日記乙輯』1934年第2類第3冊）	92式尖鋭150mmきい弾50発を陸軍科学研究所に交付。
21		12	陸軍科学研究所起案「化学兵器並弾薬類下付ノ件」1934.11.15（『大日記乙輯』1934年第2類第3冊）	あか1号100kg、きい1号250kg、きい2号250kgを陸軍科学研究所に交付。
22		13	陸軍兵器本廠起案「戦備材料（黄剤、赤剤）繰替交付二關スル件」1934.11.22（『密大日記』1934年第2冊）	あか1号200kg、きい1号200kg、きい2号300kgを陸軍科学研究所に交付。
23		14	陸軍兵器本廠起案「戦備材料（特殊弾原料）貸渡二關スル件」1934.12.12（『密大日記』1934年第2冊）	陸軍兵器本廠にきい1号500kgを造兵廠が貸渡（貸渡の分はのちに製造して返却する予定）
24		15	陸軍科学研究所起案「弾薬類下付ノ件」1935.5.20（『大日記乙輯』1935年第2類第2冊）	陸軍科学研究所に92式75mmあか弾450発、92式75mmきい弾385発、92式尖鋭100mmきい弾110発、93式尖鋭100mmあか榴弾110発、92式尖鋭150mmきい榴弾110発、93式尖鋭150mmきい弾55発、きい1号550kg、きい2号550kg、あか1号270kg交付。
25		16	陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1935.6.28（『大日記乙輯』1935年第2類第2冊）	陸軍科学研究所にきい1号甲100kg、きい2号100kgを交付。
26		17	陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1935.8.6（『大日記乙輯』1935年第2類第3冊）	陸軍科学研究所にきい1号乙200kgを交付。
27		18	陸軍技術本部起案「九四式五十匁爆弾外二点下付ノ件」1935.10.11（『大日記乙輯』1935年第2類第3冊）	陸軍技術本部に92式50kg投下きい弾45発を交付（交付地：伊良湖射場）。
28		19	陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1935.10.22（『大日記乙輯』1935年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に、92式尖鋭150mmきい榴弾60発、あか1号200kgを交付。
29		20	陸軍科学研究所起案「弾薬類下付ノ件」1935.12.14（『大日記乙輯』1935年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に、92式尖鋭150mmきい榴弾150発を交付。

No	事案コード	資料名	概要	備考
30	東京	21 戒厳司令部起案「資材支給ノ件」1936.2.28（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	2・26事件の反乱軍鎮圧用に89式みどり筒1,393本交付（甲580本、乙713本、丙100本）	
31		22 陸軍科学研究所起案「兵器下付ノ件」1936.3.26（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	陸軍科学研究所に、92式尖鋭150mmきい榴弾220発、あか1号500kgを交付。	
32		23 陸軍軍医学校起案「黄一号交付ノ件」1936.4.16（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	陸軍軍医学校に精製きい1号乙100kgを交付。	
33		24 陸軍科学研究所起案「弾薬下付ノ件」1936.7.9（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	陸軍科学研究所に、92式尖鋭150mmきい榴弾200発を交付。	
34		25 東部防衛司令部起案「防護演習用弾薬調弁方ノ件」1936.6.13（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	89式みどり筒甲248本を製造し、東京市連合防護団に交付。	
35		26 東部防衛司令部起案「防護演習用弾薬追加調弁ノ件」1936.6.17（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	89式みどり筒甲141本を追加製造し、東京市連合防護団に追加交付。	
36		27 東部防衛司令部起案「防護演習用弾薬追加調弁ノ件」1936.7.27（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	89式みどり筒甲2,345本を追加製造し、東部防衛司令部に交付。	
36		28 陸軍科学研究所起案「航空弾薬下付ノ件」1936.9.8（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に92式50kg投下きい弾60発を交付。	
37		29 陸軍技術本部起案「改造三八式野砲弾薬三八式榴霰弾弾丸外十六点下付ノ件」1936.9.14（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍技術本部に92式75mmあか弾100発、92式75mmきい弾100発を交付（交付地：伊良湖射場）。	
38		30 陸軍技術本部起案「九四式軽迫撃砲弾薬九四式重榴弾外七点下付ノ件」1936.9.21（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍技術本部に95式90mmあか弾320発、95式90mmきい弾100発を交付。	



No	事案コード	資料名	概要	備考
39	東京	31	陸軍技術本部起案「十四年式十糶加農弾薬九五式破甲榴弾々丸外二十一点下付ノ件」1936.11.1（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍技術本部に92式尖鋭100mmきい弾460発、93式100mm尖鋭あか弾460発を交付（交付地：伊良湖射場）。
40		32	陸軍科学研究所起案「兵器資材下付ノ件」1936.10.14（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍科学研究所にシモリン（ジフェニルアルシン酸）500kgを交付。
41		33	陸軍科学研究所起案「弾薬下付ノ件」1937.3.24（『大日記 乙輯』1937年第2類第2冊）	陸軍科学研究所に92式75mmあをしる弾10発を交付。
42		34	陸軍技術本部起案「四年式十五糶榴弾砲九二式尖鋭きい弾弾々丸外二十点下付ノ件」1937.8.31（『大日記 乙輯』1937年第2類第3冊）	陸軍技術本部に、92式150mm尖鋭きい弾72発（交付地：陸軍技術本部）、92式150mm尖鋭きい弾168発・93式150mm尖鋭あを弾240発・93式150mm尖鋭あか弾240発（以上交付地：伊良湖）交付。  陸軍科学研究所に、あか1号100kg・あを1号270kg・きい1号350kg・きい2号350kg（以上交付地：陸軍科学研究所/愛知県を經由して東京都へ交付）交付。
43		35	陸軍技術本部起案「改造三八式野砲九二式きい弾弾々丸外二点下付ノ件」1937.9.13（『大日記 乙輯』1937年第2類第3冊）	陸軍技術本部に、92式75mmきい弾50発を交付。
44		36	陸軍軍医学校起案「イペリット（仏法）交付ノ件」1938.1.29（『大日記 乙輯』1938年第2類第2冊）	陸軍軍医学校にきい1号甲50kg交付。
45		36	陸軍科学研究所起案「手投弾薬みどり筒甲下付ノ件」1938.5.19（『密大日記』1938年第14冊）	陸軍科学研究所に89式催涙筒甲300交付。
46		37	陸軍科学研究所起案「弾薬下付ノ件」1938.6.22（『密大日記』1938年第14冊）	陸軍科学研究所に92式75mmきい弾100発交付。
47		38	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	陸軍士官学校に、きい1号甲300kg、きい2号150kg、試製98式小あか筒400本、89式催涙筒甲900本交付

No	事案コード	資料名	概要	備考
48	東京	39	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	陸軍自動車学校に、きい1号甲200kg、きい2号50kg、試製98式小あか筒60本、89式催涙筒甲210本交付
49		40	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	陸軍予科士官学校に、きい1号甲300kg、きい2号150kg、試製98式小あか筒500本、89式催涙筒甲900本交付
50		41	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1939.5.24・同「化学兵器下付訂正ノ件」1939.6.6（『大日記 乙輯』1939年第2類第2冊）	陸軍科学研究所にちゃ1号1トン、中国東北チヂハルの勝村部隊にちゃ1号1トン交付。
51		42	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1939.7.3・同「下付兵器中一部訂正ノ件」1939.7.10（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に、中国東北北部での試験のために、ちゃ1号36kg、きい2号1000kg、あか1号1,300kg交付。
52		43	陸軍工科学学校起案「化学兵器並ニ特種弾薬特別支給ノ件」1939.9.20（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	陸軍工科学学校に、きい1号甲5kg、きい1号乙5kg、きい2号5kg、97式あか筒10本、発射あか筒10本を交付。
53		44	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1939.10.26（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に、ちゃ1号1トン、あか1号300kg、きい1号甲300kg交付。
54		45	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1940.2.28（『大日記 乙輯』1940年第2類第2冊）	陸軍科学研究所にちゃ一号30トンを交付（交付場所：関東軍化学部）。
55		46	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1940.5.14（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	陸軍科学研究所に、ちゃ一号1,500kg、きい一号甲300kg、きい一号丙300kg、あか一号200kg、みどり一号100kgを交付。
56		47	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1940.6.1（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	陸軍科学研究所にちゃ一号800kgを交付。
57		48	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1940.8.5（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	陸軍科学研究所にちゃ1号1,700kg、きい1号甲300kg交付。

No	事案コード	資料名	概要	備考
58	東京	49	陸軍科学研究所起案「化学兵器下付ノ件」1940.10.8（『大日記 乙輯』1940年第2類第4冊）	陸軍科学研究所にあか1号500kg交付。
59	千葉	1	教育総監部起案「演習用弾薬特別支給ノ件」1931.3.27（『大日記 乙輯』1931年第2類其の2）	陸軍歩兵学校にみどり棒10缶・みどり筒甲350本、陸軍騎兵学校にみどり筒甲150本、陸軍野戦重砲兵学校にみどり筒甲200本、陸軍工兵学校にみどり棒10缶・みどり筒甲30本・みどり筒乙30本交付。
60		2	教育総監部起案「演習用弾薬特別支給ノ件」1934.2.23（『大日記 乙輯』1934年第2類第2冊）	陸軍習志野学校に、きい1号300kgを交付。
61		3	陸軍省兵器局銃砲課起案「弾薬調弁並支給ノ件」1934.10.26・同「弾薬調弁並支給ニ関スル件」1934.1.14（『密大日記』1935年第2冊）	陸軍習志野学校に試製あか筒2,000本を交付。
62		4	教育総監部起案「昭和十年度演習用弾薬特別支給ノ件」1935.4.12（『大日記 乙輯』1935年第2類第2冊）	陸軍習志野学校に、拳銃用90式みどり弾300発、95式90mmあか弾600発、95式90mmきい弾300発、試製93式あか筒1000本、きい1号5.5トン、きい2号1.5トンを交付。
63		5	教育総監部起案「演習用弾薬交換支給ノ件」1936.1.23（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	教育総監部起案「昭和十年度演習用弾薬特別支給ノ件」（1935.4.12）で陸軍習志野学校に交付するとして95式90mmあか弾の量を200発に修正。
64		6	陸軍省兵器局銃砲課起案「弾薬特別支給ノ件」1936.10.16（『大日記 乙輯』1936年第2類第3冊）	陸軍習志野学校に、95式90mmあか弾400発を交付。
65		7	教育総監部起案「昭和十二年度演習用弾薬中一部支給ノ件」1937.4.17（『大日記 乙輯』1937年第2類第2冊）	陸軍習志野学校にきい1号甲1トン、きい2号乙2トン、試製93式あか筒900本、95式90mmあか弾235発、95式90mmきい弾190発を交付。
66		8	教育総監部起案「弾薬支給ノ件」1937.10.17（『大日記 乙輯』1937年第2類第3冊）	陸軍習志野学校に、きい1号乙500kg、93式あか筒100本、89式催涙筒200本、89式催涙棒25函を交付。

No	事案コード	資料名	概要	備考
67	千葉	9	教育総監部起案「演習用弾薬特別支給ノ件」1937.11.24（『密大日記』1937年第8冊）	陸軍野戦砲兵学校に92式75mmあか弾40発、92式尖鋭150mmきい弾10発交付。
68		10	教育総監部起案「化学戦資材特別支給ノ件」1937.12.7（『密大日記』1938年第14冊）	陸軍歩兵学校にきい1号125kg、きい2号75kg、93式あか筒100本交付。
69		11	教育総監部起案「弾薬特別支給ノ件」1937.12.20（『大日記 乙輯』1938年第2類第2冊）	陸軍習志野学校に、95式90mmあか弾65発、95式90mmきい弾50発、きい1号500kg支給。
70		12	教育総監部起案「化学戦資材特別支給ノ件」1937.12.31（『密大日記』1938年第14冊）	陸軍歩兵学校にきい1号500kg、きい2号300kg、93式あか筒300本交付。
71		13	教育総監部起案「弾薬特別支給ノ件」1938.8.16（『密大日記』1938年第15冊）	陸軍野戦砲兵学校に93式75mmあか弾1,500発、92式75mmきい弾600発・93式尖鋭100mmあか弾700発・92式100mmきい弾200発交付（交付地：富士駒門）
72		14	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	陸軍各学校への交付数。  陸軍歩兵学校：きい1号甲400kg、きい2号100kg、試製98式小あか筒300本、89式催涙筒甲600本  陸軍戦車学校：きい1号甲100kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒60本、89式催涙筒甲90本  陸軍騎兵学校：きい1号甲150kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲150本  陸軍野砲兵学校：きい1号甲150kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲150本

No	事案コード	資料名	概要	備考
72	千葉		<p>陸軍工兵学校：きい1号甲100kg、きい2号50kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲210本</p> <p>陸軍習志野学校：試製98式小あか筒150本、89式催涙筒甲300本</p> <p>陸軍防空学校に、きい1号甲100kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲90本交付</p>	
73		15	教育総監部起案「弾薬特別支給ノ件」1939.3.22（『大日記乙輯』1939年第2類第2冊）	下志津陸軍飛行学校に「きい剤」200kg交付。
74		16	教育総監部起案「化学戦教育用資材特別支給ノ件」1940.11.18（『大日記乙輯』1940年第2類第4冊）	陸軍防空学校に98式あか筒100本、あを1号500kg交付。
75		17	教育総監部起案「弾薬特別支給ノ件」1940.7.12（『大日記乙輯』1940年第2類第3冊）	陸軍習志野学校に、きい1号甲350kg、きい1号乙200kg、きい1号丙200kg、95式90mmきい弾30発交付
76		18	教育総監部起案「化学戦教育用資材特別支給ノ件」1940.10.10（『大日記乙輯』1940年第2類第4冊）	陸軍騎兵学校にきい1号甲60kg、きい2号30kgを交付。
77		19	教育総監部起案「化学戦教育用弾薬特別支給ノ件」1940.11.25（『大日記乙輯』1940年第2類第4冊）	陸軍工兵学校にきい1号30kg、きい2号10kg交付。
78	神奈川	1	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	<p>陸軍重砲兵学校に、きい1号甲100kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲90本交付</p> <p>陸軍通信学校に、きい1号甲100kg、きい2号30kg、試製98式小あか筒30本、89式催涙筒甲90本交付</p>

No	事案コード	資料名	概要	備考
79	静岡	1	教育総監部起案「弾薬特別支給ノ件」1939.3.22（『大日記乙輯』1939年第2類第2冊）	浜松陸軍飛行学校に「きい剤」200kg交付。
80	愛知	1	陸軍技術本部起案「十四年式十糎加農九一式尖鋭弾弾丸外二十点下付ノ件」1934.9.27（『大日記乙輯』1934年第2類第3冊）	92式尖鋭100mmきい弾100発を陸軍科学研究所に交付（交付地：伊良湖射場/東京都を經由して愛知県へ交付）。
81		2	陸軍技術本部起案「九四式五十瓦爆弾外二点下付ノ件」1935.10.11（『大日記乙輯』1935年第2類第3冊）	陸軍技術本部に92式50kg投下きい弾45発を交付（交付地：伊良湖射場/東京都を經由して愛知県へ交付）。
82		3	陸軍技術本部起案「十四年式十糎加農九一式尖鋭弾弾丸外二十点下付ノ件」1934.9.27（『大日記乙輯』1934年第2類第3冊）	92式尖鋭100mmきい弾100発を陸軍科学研究所に交付（交付地：伊良湖射場/東京都を經由して愛知県へ交付）。
83		4	陸軍技術本部起案「四年式十五糎榴弾砲九二式尖鋭きい弾弾々丸外二十点下付ノ件」1937.8.31（『大日記乙輯』1937年第2類第3冊）	陸軍技術本部に、92式150mm尖鋭きい弾72発（交付地：陸軍技術本部）、92式150mm尖鋭きい弾168発・93式150mm尖鋭あを弾240発・93式150mm尖鋭あか弾240発（以上交付地：伊良湖/東京都を經由して愛知県へ交付）交付。  陸軍科学研究所に、あか1号100kg・あを1号270kg・きい1号350kg・きい2号350kg（以上交付地：陸軍科学研究所/東京都を經由して愛知県へ交付）交付。
84		5	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	豊橋陸軍教導学校に、きい1号甲250kg、きい2号50kg、試製98式小あか筒300本、89式催涙筒甲600本交付
85		6	教育総監部起案「昭和十四年度甲種幹部候補生演習用弾薬支給ノ件」1939.11.23（『大日記乙輯』1939年第2類第3冊）	豊橋予備士官学校にきい1号100kg、きい2号100kg、97式あか筒100本、98式あか筒650本交付。
86		7	教育総監部起案「昭和十五年度下士官候補者教育用弾薬支給ニ関スル件」1940.7.3（『大日記乙輯』1940年第2類第3冊）	豊橋予備士官学校に89式催涙筒甲300本、89式催涙棒10函、98式あか筒20本交付。

No	事案コード	資料名	概要	備考
87	大阪	1	第四師団起案「弾薬払下ノ件」1934.6.8（『大日記 乙輯』1934年第2類第2冊）	近畿防空演習用に民間防護団に対して89式みどり筒171本を払下。
88	岡山	1	臨時毒瓦斯調査委員起案「十五榴瓦斯弾々丸外十五点下付並貸渡ノ件」1920.10.19（『大日記 乙輯』1920年第2類第5冊）	臭素1,150キロを岡山県日本原演習場で下付
89	島根	1	第十師団起案「新設部隊演習用弾薬特別支給ノ件」1940.6.28（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	迫撃第一連隊に、95式90mmあか弾60発、95式90mmきい弾60発、98式小あか筒30本、試製発射あか筒60本、きい1号甲18kg、きい1号乙18kg、きい1号丙200kg、きい2号11kg交付。
90	福岡	1	第一二師団起案「防空演習用弾薬調弁ニ関スル件」1936.8.26（『大日記 乙輯』1936年第2類第2冊）	留守第12師団司令部にたいし、北九州防空演習用に89式みどり筒1,612本（甲1405本、乙167本、丙40本）・みどり棒58函交付。
91		2	教育総監部起案「昭和十四年度甲種幹部候補生演習用弾薬支給ノ件」1939.11.23（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	久留米予備士官学校にきい1号30kg、きい2号30kg、97式あか筒30本、98式あか筒60本交付。
92		3	教育総監部起案「昭和十五年度下士官候補者教育用弾薬支給ニ関スル件」1940.7.3（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	久留米予備士官学校に89式催涙筒甲100本、89式催涙棒3函、98式あか筒10本交付。
93		4	陸軍航空本部起案「兵器（きい一号丙）下付ノ件」1940.9.10（『大日記 乙輯』1940年第2類第4冊）	陸軍航空技術研究所にきい1号丙6トンを交付（交付地：東京第二陸軍造兵廠曾根兵器製造所）。

No	事案コード	資料名	概要	備考
94	熊本	1	教育総監部起案「昭和十三年度緊急化学戦資材特別支給ノ件」1938.9.13（『密大日記』1938年第15冊）	熊本陸軍教導学校に、きい1号甲200kg、きい2号50kg、試製98式小あか筒150本、89式催涙筒甲600本交付
95		2	教育総監部起案「昭和十四年度甲種幹部候補生演習用弾薬支給ノ件」1939.11.23（『大日記 乙輯』1939年第2類第3冊）	熊本教導学校にきい1号50kg、きい2号50kg、97式あか筒50本、98式あか筒300本交付。
96		3	教育総監部起案「昭和十五年度下士官候補者教育用弾薬支給ニ関スル件」1940.7.3（『大日記 乙輯』1940年第2類第3冊）	熊本教導学校に89式催涙筒甲300本、89式催涙棒8函、98式あか筒20本交付。



別表3 旧軍施設一覧

名 称	所在地	主な所在部隊等
	北海道旭川市	師団司令部、3コ歩兵連隊(22.27.28)、搜索第7連隊、山砲第7連隊、工兵第7連隊、輜重兵第7連隊、陸軍病院、通信隊、衛生隊、その他の部隊
		化学部隊?
陸軍糧秣廠札幌支廠	札幌市	陸軍糧秣廠札幌支廠
丘珠飛行場	北海道札幌市	(当初)第1飛行師団第25飛行団第63戦隊 (S19.8~終戦)第1飛行師団第20飛行団第54戦隊
美幌海軍航空隊基地	網走郡美幌町	美幌海軍航空隊
旧軍 演習場	上川郡美瑛町	
旧軍 飛行場	枝幸郡浜頓別町	
旧軍 飛行場	宗谷郡猿払村	
旧軍陣地	稚内市周辺	第42師団
月寒練兵場	札幌市	歩兵25連隊
陸軍兵器補給廠札幌支所	札幌市	
津軽要塞司令部	函館市	函館要塞砲兵隊
函館重砲兵大隊兵舎	函館市	函館重砲兵大隊
函館重砲兵連隊本部	函館市	函館重砲兵連隊
谷地頭弾丸本庫		
薬師山砲台御殿山第1・2砲台	函館市	函館重砲兵連隊
千畳敷第1・2砲台		
高地観測所		
立待低地観測所		
水元弾丸本庫		
火薬本庫		
松前臨時砲台	松前郡松前町	函館重砲兵連隊第1大隊本部及び第1中隊
汐首臨時砲台	亀田郡戸井町	
恵山臨時砲台	亀田郡恵山町	
沼尻地下陣地	茅部郡茅部町	
西春別軍馬補充部	野付郡別海町	
計根別飛行場	野付郡別海町	飛行第32戦隊 第20飛行地司令部 第73飛行大隊 第305特設警備工兵隊
陸軍北部教育隊	恵庭市	陸軍北部教育隊
旧大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所	稚内市	
陸軍宗谷倉庫	北海道稚内市	
帯広陸軍飛行場	北海道帯広市	
	北海道千歳市	
	北海道函館市	
陸軍砲兵連隊練兵場	北海道函館市	
	北海道松前町	
海軍宗谷防備隊野寒布分遣隊特設見張所	北海道稚内市	宗谷防備隊
千歳海軍航空隊	北海道千歳市	第11航空艦隊24戦隊
	北海道千歳市	海軍第24航空戦隊
八雲飛行場	北海道山越郡八雲町(旧青森県上北郡三沢村)	第705航空隊
		第41航空基地隊三沢分遣隊
		霞ヶ浦海軍航空隊三沢分遣隊

名 称	所在地	主な所在部隊等
八雲飛行場	北海道山越郡八雲町（旧青森県上北郡三沢村）	練習聯合航空隊三沢練習航空隊
		第41航空基地隊三沢分工場
		横須賀海軍航空隊審査部
		第724航空隊
三沢海軍航空隊	青森県三沢市	三沢航空隊
天ヶ森射撃場	青森県三沢市	
海軍警備府	青森県むつ市	大湊海軍航空隊
海軍大湊通信隊近川分遣隊	青森県むつ市	
海軍航空機不時着場	青森県むつ市	
八戸陸軍飛行場	青森県八戸市	中部軍直協飛行隊
		第95飛行場大隊八戸派遣隊
		所沢陸軍航空整備学校八戸教育隊
		第7教育航空隊
第8師団	青森県弘前市	第8師団
陸軍一本木原演習場	岩手県岩手郡滝沢村 岩手県岩手郡西根町	
	岩手県盛岡市青山町	騎兵第23・24連隊
	宮城県宮城郡松島町	多賀城海軍工廠の支廠
仙台陸軍飛行学校	宮城県岩沼市	
海軍第1火薬庫廠	宮城県角田市	
	宮城県柴田郡柴田町	
	宮城県黒川郡大和町 宮城県黒川郡大衡村 宮城県加美郡色麻町	
海軍第1火薬廠	宮城県柴田郡柴田町	
（通信省航空機搭乗員養成所及び仙台飛行場施設用地）	宮城県仙台市	陸軍宇都宮飛行隊の一部派遣駐屯
陸軍東京第一陸軍造幣廠仙台製造所	宮城県仙台市	
多賀城海軍工廠	宮城県多賀城市	
海軍工廠地下工場	宮城県宮城郡松島町	
松島海軍航空隊	宮城県桃生郡矢本町	
王城寺原陸軍射撃場	宮城県黒川郡大和町	
歩兵第17連隊	秋田県秋田市	歩兵第17連隊
	山形県東根市	
神町基地	山形県東根市	第10航空連隊第15連合航空隊神町飛行隊
山形屯営	山形県山形市	第23師団第32連隊
		第244連隊
海軍第3航空隊施設用地	福島県西白河郡西郷村	宇都宮13師団等
	福島県郡山市	海軍第3航空隊
海軍燃料施設	茨城県稲敷郡阿見町	
海軍第1航空廠	茨城県稲敷郡阿見町	
海軍航空補給廠	茨城県稲敷郡阿見町	
武器補給処 海軍第1航空廠	茨城県土浦市	第739武器隊
旧海軍百里原航空隊飛行場	茨城県東茨城郡小川町	百里原海軍航空隊
土浦海軍航空隊	茨城県稲敷郡阿見町	土浦海軍航空隊
	北茨城市	気球聯隊（東部）
	日立市	歩兵第433聯隊

名 称	所在地	主な所在部隊等
	常陸太田市	第151師団司令部(主力)
	久慈	第1電波誘導隊補足中隊
	那珂町	水戸北飛行場
	大宮町	第151師団輜重隊
	桂村・常北町	独立工兵第92大隊
	勝田市	歩兵第434聯隊
	那珂湊市	第2教導飛行隊
	水戸市	第151師団司令部
	内原町	独立戦車第7旅団司令部
	友部町	独立戦車第7旅団機関砲隊
	笠間市	第16独立通信作業隊
	常澄村	歩兵第435聯隊
	大洗町	独立重砲兵第12大隊
	茨城町	輜重兵第44聯隊
	旭村	歩兵第93聯隊
	美野里町	第3牽引自動車隊
	岩間町	電信第8聯隊
	鉾田町	独立混成第116旅団司令部
	大洋村	水戸地区第17特設警備隊
	鹿嶋市	第221師団司令部
	神栖町	独立混成第115旅団司令部
	潮来町	歩兵第94聯隊
	小川町	第44師団司令部
	玉造町	第44師団制毒隊
	玉里村	第44師団病馬廠
	美浦村	鹿島海軍航空隊
	龍ヶ崎市	野戦重砲第11聯隊
	阿見町	土浦海軍航空隊
	石岡市	第51軍司令部
	新治村	藤沢飛行場
	土浦市	第45兵站地区隊本部
	八郷町	第81師団速射砲隊
	谷田部町	谷田部海軍航空隊
	つくば市	第5飛行団司令部
	石下町	歩兵第172聯隊
	真壁町	歩兵第171聯隊
	下妻市	宇都宮陸軍病院西筑波分院
	関城町	第81師団通信隊
	古河市	工兵第81聯隊
	岩瀬町	野砲兵第81聯隊
	下館市	第81師団第4野戦病院
	結城市	第81師団司令部
日立兵器株式会社水戸工場	ひたちなか市	水戸工場
長岡射場	茨城町	長岡射場
陸軍第1軍需工場	栃木県宇都宮市	
民間企業	栃木県宇都宮市 栃木県下都賀郡 石橋町	
陸軍岩鼻火薬製造所入野射場	群馬県多野郡吉井町 高崎市	
陸軍前橋予備士官学校	群馬県北群馬郡 榛東村	
陸軍相馬原演習場	群馬県北群馬郡 榛東村 群馬郡箕郷町	
熊谷陸軍飛行学校	埼玉県熊谷市	

名 称	所在地	主な所在部隊等
第1陸軍造兵廠	埼玉県さいたま市	第1陸軍造兵廠
所沢飛行場 陸軍航空学校 陸軍航空整備学校	埼玉県所沢市	
陸軍省中央無線大井通信所	埼玉県入間郡大井町	
陸軍士官学校	埼玉県狭山市	士官学校
海軍気象通信所	清瀬市 埼玉県新座市	
館山海軍航空基地	千葉県館山市	館山海軍航空隊
州の崎海軍航空隊	千葉県館山市	州の崎海軍航空隊
館山海軍砲術学校	千葉県館山市	館山海軍砲術学校
陸軍習志野原演習場	千葉県船橋市 八千代市	
陸軍騎兵学校	千葉県船橋市	戦車第29連隊
下志津陸軍飛行学校	千葉県千葉市	師団司令部、第3飛行隊、材料廠、写真隊、通信隊
海軍木更津基地	千葉県木更津市	第2海軍航空廠
藤ヶ谷飛行場	千葉県東葛飾郡 沼南町	陸軍第10飛行師団 飛行第53戦隊 第116飛行場大隊
木更津海軍航空基地 海軍航空廠	千葉県木更津市	海軍補給部
陸軍造兵廠資材置場	東京都練馬区	
陸軍成増飛行場	東京都板橋区、練馬区	
陸軍東京砲兵工廠銃砲 製造工場、 東京第1陸軍造兵廠十 条工廠	東京都北区、 板橋区	
陸軍造兵廠 東京工廠 東京第1陸軍造兵廠	東京都北区	
板橋兵器庫 東京陸軍兵器補給廠	東京都北区	
海軍技術研究所	東京都目黒区	
	東京都港区	第1師団歩兵第3連隊、近衛歩兵第7連隊
海軍經理学校	東京都港区	
陸軍衛生材料本廠	東京都世田谷区	
陸軍駒沢練兵場	東京都世田谷区	
陸軍獣医資材廠	東京都立川市 国立市 国分寺市	
第六陸軍 技術研究所	東京都 新宿区 百人町	
十条駐屯地	東京都北年増郡十条 東京都北区	東京第1陸軍造幣廠 海軍下瀬火薬製造所
東立川駐屯地	東京都立川市	陸軍獣医資材廠
陸軍燃料廠	東京都府中市	陸軍燃料廠
第2陸軍造兵廠多摩製 造所	東京都稲城市	第2陸軍造兵廠多摩製造所
第17飛行団司令部	東京都調布市	飛行第44戦隊 独立飛行第101中隊 第14航空通信隊
	小平市	陸軍經理学校

名 称	所在地	主な所在部隊等
陸軍衛生材料廠	東京都世田谷区	陸軍衛生材料廠教育隊
陸軍予科士官学校 陸軍被服廠	東京都練馬区 埼玉県新座市 和光市 朝霞市	
陸軍立川飛行場 陸軍航空技術研究所 立川陸軍航空廠 陸軍航空工廠	東京都立川市	陸軍飛行第5連隊
多摩飛行場 立川陸軍航空整備学校 陸軍航空発動試験所 陸軍航空廠熊川出張所	東京都福生市 立川市 昭島市 武蔵村山市 羽村市 西多摩郡瑞穂町	陸軍航空廠熊川出張所、陸軍飛行実験部、陸軍航空整備学校、 陸軍航空審査部、陸軍航空発動機試験所、陸軍航空気象部
陸軍造兵廠火工廠板橋 製造所多摩分工場 (陸軍造兵廠火工廠板 橋製造所多摩分工場)	東京都多摩市 稲城市	
陸軍燃料廠	東京都府中市	
第九陸軍 技術研究所	神奈川県 川崎市 生田区	
横須賀海軍工廠	神奈川県横須賀市	横須賀海軍工廠 実験部
横須賀海軍工廠	神奈川県横須賀市	横須賀海軍工廠 造兵部
横須賀海軍軍需部	神奈川県横須賀市	横須賀海軍軍需部
横須賀海軍軍需部海軍 水雷学校	神奈川県横須賀市	横須賀海軍軍需部 海軍水雷学校
海軍箱崎貯油所	神奈川県横須賀市	海軍箱崎貯油所
横須賀海軍軍需部	神奈川県横須賀市	横須賀海軍軍需部
横須賀海軍港務部及び 横須賀防備隊	神奈川県横須賀市	横須賀海軍軍需部 横須賀防備隊
横須賀海軍鎮守府長官 官邸	神奈川県横須賀市	横須賀海軍鎮守府長官官邸
海軍水雷学校 横須賀海軍工廠	神奈川県横須賀市	海軍水雷学校 横須賀海軍工廠 造兵部
横須賀海軍工廠	神奈川県横須賀市	横須賀海軍工廠 機雷実験部
海軍対潜学校	神奈川県横須賀市	海軍対潜学校
武山海兵団	神奈川県横須賀市	武山海兵団
陸軍観音崎砲台	神奈川県横須賀市	陸軍観音崎砲台
陸軍千代ヶ崎砲台	神奈川県横須賀市	陸軍千代ヶ崎砲台
陸軍築城部大矢部倉庫	神奈川県横須賀市	陸軍築城部大矢部倉庫
花立堡壘砲台	神奈川県横須賀市	
走水高砲台	神奈川県横須賀市	
小原台堡壘砲台	神奈川県横須賀市	
小原台砲台	神奈川県横須賀市	
花立新砲台	神奈川県横須賀市	
兵器倉庫	神奈川県横須賀市	
海軍走水防備隊用地及 び繋船場	神奈川県横須賀市	
陸軍兵器学校 陸軍第4技術研究所 相模陸軍造兵廠	神奈川県相模原市	

名 称	所在地	主な所在部隊等
陸軍兩ヶ崎砲台	神奈川県三浦市	
海軍通信学校	神奈川県横須賀市	
海軍大楠機関学校射撃場	神奈川県横須賀市	
海軍横須賀海兵団	神奈川県横須賀市	
海軍対潜学校 水雷学校久里浜分校	神奈川県横須賀市	
	神奈川県横須賀市	海軍横須賀第2海兵団
相模海軍工廠	神奈川県平塚市	相模海軍工廠
帝都防衛海軍基地	神奈川県綾瀬市 神奈川県大和市 神奈川県海老名市	相模野海軍航空隊、厚木海軍航空隊、第2相模野海軍航空隊、 第302航空戦闘機隊、第203航空隊
陸軍造兵廠東京工廠相模兵器製造所（相模陸軍造兵廠の前身）	神奈川県相模原市	
	神奈川県相模原市	陸軍通信第1連隊
陸軍士官学校	神奈川県相模原市 神奈川県座間市	
海軍軍需部池子倉庫、 第2海軍航空廠補給部 池子工場、海軍横須賀 海軍第2工廠造兵部谷 戸田注填場	神奈川県逗子市、横浜市	
海軍大学及び機関学校の射撃場施設	神奈川県横須賀市	
海軍横須賀海軍工廠、 鎮守府等	神奈川県横須賀市	
海軍吾妻島燃料・弾薬 貯蔵所	神奈川県横須賀市箱崎町 （吾妻島）、田浦港町	
海軍軍需部猪火薬庫	神奈川県横須賀市	
横須賀海軍軍需部 第2海軍航空廠 第2海軍技術廠	神奈川県横浜市 神奈川県横浜市	
海軍通信本部	神奈川県横浜市	東京通信隊戸塚分遣隊
海軍横須賀軍需部燃料 貯蔵所	神奈川県横浜市	
海軍飛行艇基地	神奈川県横浜市	
	富山県内の大学	歩兵第35連隊
	石川県小松市	豊橋海軍航空隊小松分遣隊 対潜哨戒部隊の一部 美保海軍航空隊神雷特別攻撃隊
小松海軍航空基地	石川県小松市	舞鶴建設隊 豊橋海軍航空隊 721空（神雷部隊）
三小牛山演習場	石川県金沢市	旧軍工兵隊
	石川県金沢城内	歩兵第7連隊
	石川県金沢市	山歩兵第9連隊
	石川県小松市	海軍予科練教育航空隊
小松海軍航空隊	石川県加賀市	美保航空隊
	福井県敦賀市	歩兵第19連隊
	福井県鯖江市	歩兵第36連隊
陸軍北富士演習場	山梨県富士吉田市 山梨県南都留郡山中湖村	
民間企業	長野県松本市	
岐阜川崎工場	岐阜県岐阜市	
	岐阜県加納町	歩兵第68連隊
日野射場	岐阜県岐阜市	歩兵68連隊
	岐阜県中津川市	陸軍演習場（名称不明）
	岐阜県各務原村	岐阜陸軍航空整備学校
各務ヶ原飛行場	岐阜県各務原村	第3師団飛行第1第2連隊
陸軍各務原飛行場	岐阜県那加村 （西飛行場）	飛行第1戦隊

名 称	所在地	主な所在部隊等
陸軍各務原飛行場	岐阜県那加村 (西飛行場)	岐阜陸軍航空整備学校 陸軍病院各務原分院
	岐阜県蘇原町 (中飛行場)	第1飛行団司令部 第3師団経理部各務原派出所 各務原陸軍航空廠 各務原憲兵分遣隊
		岐阜県鷺沼町 (東飛行場)
	陸軍飛行学校	静岡県浜松市
陸軍航空廠浜松分廠		陸軍航空廠浜松分廠
第1航空輸送隊		第1航空輸送隊
航空通信教育隊		中部第130部隊
陸軍技術研究所三方原出張所	静岡県浜松市	
三方原陸軍教導飛行団		
第7航空教育隊		中部97部隊
海軍藤枝航空基地	静岡県志太郡大井川町	海軍第131航空隊
旧海軍音響実験所付属施設	静岡県沼津市	
陸軍キャンプ (幕舎)野営地	静岡県御殿場市	
滝ヶ原飛行場	静岡県御殿場市	
軍重砲兵学校	静岡県御殿場市	
陸軍富士演習場廠舎	静岡県御殿場市	
富士裾野陸軍演習場	静岡県御殿場市 静岡県裾野市 静岡県駿東郡小山町	
名古屋陸軍兵しょう鷹来製造所西山分処	愛知県春日井市	
陸軍小牧飛行場	愛知県小牧市	陸軍第55戦隊 第111戦隊 第20戦闘飛行集団司令部 独立偵察隊 軽爆飛行団 第42飛行場大隊
高蔵寺基地	愛知県春日井市	名古屋陸軍兵器補給廠高蔵寺部隊
小幡ヶ原演習場	愛知県名古屋市	
	愛知県名古屋城内	歩兵第6連隊
	愛知県名古屋市	歩兵第33連隊、騎兵第3連隊、野砲兵第3連隊
高山射場	愛知県豊橋市	
	愛知県豊橋市	豊橋海軍航空隊
	愛知県豊橋市	歩兵第18連隊
	愛知県豊橋市	豊橋第1陸軍予備士官学校
	愛知県豊橋市	豊橋第2陸軍予備士官学校
千両演習場	愛知県豊川市	豊川海軍工廠火薬庫
豊川海軍工廠	愛知県豊川市	豊川海軍工廠
	愛知県東春日井郡	名古屋陸軍幼年学校
	愛知県碧海郡	第一岡崎海軍航空隊
	愛知県碧海郡	第二岡崎海軍航空隊
	愛知県碧海郡	第三岡崎海軍航空隊
	愛知県西加茂郡	名古屋海軍教育隊
	愛知県知多郡	第一海和海軍航空隊
	愛知県知多郡	第二海和海軍航空隊

名 称	所在地	主な所在部隊等
本地ヶ原飛行場	愛知県尾張旭市	グライダー飛行場
小牧飛行場	愛知県小牧市	陸軍小牧飛行場第55戦隊
名古屋三菱工場	愛知県名古屋市	
	三重県一志郡	海軍予科練教育航空隊
陸軍舎	三重県久居市	
明野飛行場	三重県度会郡	明野陸軍飛行学校から明野教導飛行師団と改称 飛行第200戦隊
饗庭野陸軍演習場、同射撃場	滋賀県高島郡	
	滋賀県高島郡	
大津駐屯地	滋賀県大津市	大津海軍航空隊
	京都府綾部市	舞鶴海軍通信隊上杉分遣隊
民間企業	京都府京都市	
	京都府城陽市	
	京都府福知山市	
陸軍福知山室射撃場	京都府福知山市	
宇治駐屯地	京都府宇治市	宇治火薬製造所
福知山駐屯地	京都府福知山市	陸軍歩兵第20・120聯隊
祝園分屯地	京都府相楽郡精華町	宇治火薬製造所
海軍機関学校	京都府舞鶴市	
海軍舞鶴海兵団大波射撃場	京都府舞鶴市	
舞鶴鎮守府	京都府舞鶴市	
第3海軍火薬廠第1区	京都府舞鶴市	
舞鶴海軍潜水艦棧橋、舞鶴海軍港第2上陸場、海軍兵学校舞鶴分校第2区、舞鶴海軍工廠2次電池工場	京都府舞鶴市	
海軍軍需部第1区	京都府舞鶴市	
第3海軍火薬廠第1区	京都府舞鶴市	
海軍軍需部油槽所	京都府舞鶴市	
海軍舞鶴軍需部大波重油槽	京都府舞鶴市	
海軍軍需部白浜火薬庫	京都府舞鶴市	
海軍舞鶴軍需部第6区、舞鶴鎮守府第16防区	京都府舞鶴市	
舞鶴海軍軍需部第5区	京都府舞鶴市	
	京都府舞鶴市	舞鶴海兵団
海軍航空廠自動車修理工場、海軍舞鶴防備隊第1区	京都府舞鶴市	
海軍軍需部第3区	京都府舞鶴市	
八尾駐屯地	大阪府八尾市	陸軍中部飛行旅団
信太山駐屯地	大阪府和泉市	陸軍野砲兵第4聯隊、陸軍病院信太山分院、伯太練兵場
陸軍信太山演習場旧郷莊練兵場	大阪府和泉市	旧陸軍演習場
	兵庫県小野市 他	陸軍戦車第15連隊
姫路駐屯地	兵庫県姫路市	陸軍歩兵第10聯隊1大隊1中隊
由良要塞生石山砲台(生石試験射撃場)	兵庫県洲本市	由良要塞
		奈良航空隊
奈良連隊	奈良県奈良市	歩兵第38連隊、歩兵第138連帯
大阪兵器廠燃料貯蔵庫	奈良県五條市	中部軍管区第6施設隊 特設作業隊
近畿海軍航空隊	奈良県手利市	
奈良陸軍小銃射撃場	奈良県奈良市	



名 称	所在地	主な所在部隊等
海軍紀伊防備隊	和歌山県日高郡由良町	紀伊防備隊
	島根県浜田市	歩兵第21連隊
		歩兵第24連隊
	島根県松江市	歩兵第63連隊
海軍航空隊直江基地	島根県簸川郡斐川町	山陰海軍航空隊
玉造基地	島根県八束郡穴道町	山陰海軍航空隊
湯町基地	島根県八束郡玉湯町	山陰海軍航空隊
海軍美保基地	鳥取県境港市	美保海軍飛行隊 第3輸送航空隊
美保飛行場	鳥取県境港市	美保海軍航空隊
演習場	鳥取県日野郡溝口町	
	鳥取県鳥取市	第10師団第8旅団司令部 第40歩兵連隊
陸軍岡山兵器補給廠三軒屋弾薬所	岡山県岡山市	
演習場	岡山県勝田郡奈義町	
	岡山県岡山市	第10師団第8旅団司令部 第10師団第10、63歩兵連隊 第110師団歩兵第110連隊 第54師団歩兵第154連隊 第224師団歩兵第342連隊 第154師団歩兵第447連隊 第154師団歩兵第448連隊 第205師団歩兵第509連隊 工兵第10連隊
海軍兵学校大原分校	広島県安芸郡江田島町	
海軍兵学校大原分校長浜射撃場	広島県安芸郡江田島町	
海軍兵学校舟艇発着所	広島県安芸郡江田島町	
海軍兵学校	広島県安芸郡江田島町	
	広島県安芸郡江田島町	
海軍軍需部川上火薬庫	広島県東広島市	
海軍灰ヶ峰通信施設	広島県呉市	
海軍技手養成施設	広島県呉市	
海軍第11空廠	広島県呉市	
海軍呉海軍工廠	広島県呉市	
陸軍造兵廠 忠海製造所	広島県 竹原市 (大久野島)	陸軍造兵廠化工廠忠海派出所
広島城	広島県広島市	旧陸軍第5師団司令部 旧陸軍第9旅団司令部 歩兵第11連隊 野砲兵第5連隊 中国軍管区司令部 広島陸軍病院 広島陸軍幼年学校 西練兵場 工兵第5連隊 輜重兵5連隊 電信第21連隊
	広島県福山市	歩兵第24連隊
広島陸軍兵器支廠	広島県広島市	歩兵第41連隊
広島第5師団弾薬庫	広島県広島市	似島検疫所 捕虜収容所 広島第5師団弾薬庫
広島陸軍被服支廠	広島県広島市	広島陸軍被服支廠
陸軍物資集積所	広島県安芸郡海田町	陸軍物資集積所 広島陸軍被服支廠海田市倉庫 米英豪進駐軍
東練兵場	広島県広島市	東練兵場
済美国民学校	広島県広島市	陸軍偕行社
江波皿山射撃場	広島県広島市	江波射撃場

名 称	所在地	主な所在部隊等
演習場	広島県東広島市	
水源地	広島県呉市	旧軍水源地
民間企業	広島県広島市	
呉鎮守府	広島県呉市	
防備隊	広島県呉市	
呉海兵団	広島県呉市	
下士官兵集会所等	広島県呉市	
呉海軍工廠	広島県呉市	
港務部第3区	広島県呉市	
軍需部乙廻燃料置場	広島県呉市	
大うるめ島燃料置場	広島県呉市	
無線電信所焼山送信所	広島県呉市	
海軍病院等	広島県呉市	
練兵場	広島県呉市	
呉工廠、第11空廠、 軍需部等	広島県呉市	
第11空廠切串弾薬庫	広島県江田島町	
飛渡瀬燃料置場	広島県江田島町	
秋月弾薬庫	広島県江田島町	
旧軍港宇品港	広島県広島市	陸軍運輸部 陸軍船舶練習部 陸軍糧秣支廠 陸軍糧秣支廠缶詰工場
	広島県広島市	陸軍船舶司令部
海軍工廠	広島県呉市	第11海軍航空廠
	広島県呉市	
	広島県呉市	海軍弾薬庫・燃料庫
	広島県安芸郡倉橋町	砲煩実験部 大浦崎特殊潜航艇基地
	広島県呉市	
岩国海軍航空基地	山口県岩国市	岩国海軍航空隊
	山口県下関市	海軍下関防備隊
海軍特設見張所	山口県萩市	
陸軍飛行場送信所	山口県防府市	
	山口県山口市	
陸軍要塞	山口県下関市	下関重砲連隊
小月飛行場	山口県下関市	陸軍飛行第4戦隊から 陸軍第19飛行団から 陸軍第12飛行師団
防府海軍通信学校	山口県防府市	防府海軍通信学校
陸軍防府飛行場	山口県防府市	陸軍第16飛行団第51戦隊
山口駐屯地	山口県山口市	第5師団歩兵第42連隊 第21旅団司令部 第39師団233連隊 第231師団司令部
探照台、聴音台	山口県徳山市、 大高神山	
大津島基地	山口県徳山市	回転基地
海軍徳山燃料廠	山口県徳山市	海軍燃料隊
	山口県岩国市	海軍燃料隊
徳山港務部	山口県周南市	
	山口県光市	海軍工廠

名 称	所在地	主な所在部隊等
演習場	山口県阿武郡むつみ村	
小松島海軍航空隊	徳島県小松島市	903空
徳島飛行場 第11航空廠徳島支廠	徳島県板野郡松茂町	海軍徳島航空隊 第11航空廠徳島支廠
徳島営所	徳島県徳島市	歩兵第62連隊、歩兵第43連隊(大14~)
第55軍四国防衛配備 (太平洋沿岸配備)	徳島県勝浦郡多家良村	独立第121混成旅団
	香川県坂出市	
	香川県坂出市、 綾歌郡国分寺町	
善通寺営所	香川県善通寺町	第11師団司令部、騎兵第11連隊、山砲兵第11連隊、 輜重兵第11大隊、工兵第11大隊
丸亀営所	香川県丸亀市	歩兵第12連隊
松山営所	愛媛県松山市	歩兵第22連隊
	愛媛県松山市、 温泉郡重信町	
高知営所	高知県高知市	歩兵第44連隊
第55軍四国防衛配備 (太平洋沿岸配備)	高知県長岡郡新改村	第55軍司令部
	高知県長岡郡瓶岩村	第205師団
	高知県香美郡土井ノ谷	第155師団
	高知県長岡郡介良村	第11師団
	高知県幡多郡中村町	第344師団
陸軍芦屋飛行場	福岡県遠賀郡屋町	小倉陸軍病院芦屋分院 大刀洗陸軍航空廠芦屋分院 西部第124部隊(飛行第248、124戦隊) 飛行第24戦隊 飛行第59戦隊
築城海軍航空隊	福岡県築上郡椎田町	築城海軍航空隊 第50航空戦隊 11海軍補給処築城支処
第1陸軍予備士官学校	福岡県久留米市	
陸軍射撃場(名称不明)	福岡県久留米市	
大刀洗飛行場	福岡県大刀洗町	第5航空教育隊 航空機製作所
小倉陸軍造兵廠 春日製造所	春日村	
太刀洗飛行場	福岡県朝倉郡夜須町	
	福岡県小郡市	
	福岡県福岡市	
	福岡県久留米市	
陸軍席田飛行場	福岡県福岡市	
陸軍小倉兵営	福岡県北九州市	歩兵14連隊 野戦重砲兵5・6連隊
小倉陸軍造兵廠山田弾 薬庫		
陸軍兵器補給廠		
富野弾薬庫		
東京第2陸軍造兵廠曾 根製造所		
陸軍病院	福岡県北九州市	
陸軍衛戍刑務所		
小倉陸軍造兵廠		
陸軍曾根飛行場		
西部防衛司令部 小倉憲兵隊本部		
横沼弾薬庫		

名 称	所在地	主な所在部隊等
歩兵第56連隊	福岡県久留米市	第18師団歩兵第56連隊
戦車第56連隊		第18師団戦車第56連隊
歩兵第24旅団司令部		歩兵第24旅団司令部
久留米衛生病院		陸軍病院
第1予備士官学校		学校
搜索第56連隊		第18師団搜索第56連隊
牟田山練兵場		
野砲兵第56連隊		第18師団野砲兵第56連隊
高良台演習場		
第2予備士官学校		学校
軽重兵第56連隊		第18師団軽重兵第56連隊
第18師団司令部		第18師団司令部
師団火薬庫		
師団兵器部		
久留米連隊区司令部		
久留米偕行社		
工兵第56連隊		第18師団工兵第56連隊
工兵隊作業所		
工兵隊渡河訓練場		
高良台演習場	福岡県三井郡上津荒木町	第18師団 第12師団
	長崎県佐世保市	佐世保第2海兵隊
海軍佐世保鎮守府	長崎県佐世保市	
海軍佐世保防備隊施設	長崎県佐世保市	
佐世保海軍航空隊格納庫施設	長崎県佐世保市	
海軍向後崎防衛区	長崎県佐世保市	
佐世保海軍鎮守府，佐世保海兵団，佐世保海軍工廠，佐世保海軍需部，佐世保病院等	長崎県佐世保市	
海軍火薬庫	長崎県佐世保市	
海軍佐世保海軍工廠ドック	長崎県佐世保市	
海軍佐世保航空隊、第21海軍航空廠崎辺工場	長崎県佐世保市	海軍佐世保航空隊
	長崎県佐世保市	海軍佐世保防備隊
海軍貯油所	長崎県佐世保市	
	長崎県佐世保市	
海軍火口工場、海軍補給倉庫	長崎県佐世保市	
	長崎県佐世保市	
佐世保海軍工廠	長崎県佐世保市	
第21空廠崎辺地区	長崎県佐世保市	
海軍貯油施設	長崎県佐世保市	
	長崎県佐世保市	
築城本部対馬出張所	長崎県下県郡厳原町	
海軍電探基地、陸軍高射砲陣地	長崎県下県郡厳原町	
	長崎県下県郡美津島町	
海軍貯油所	長崎県西彼杵郡西海町	
第12師団管轄陸軍演習場	長崎県東彼杵郡彼杵町、佐賀県藤津郡嬉野町	

名 称	所在地	主な所在部隊等
大村海軍航空隊	長崎県大村市	大村海軍航空隊 第343海軍航空隊
第21海軍航空廠	長崎県大村市	第21海軍航空廠
大村陸軍	長崎県大村市	西部第47部隊、歩兵第146聯隊等、 久留米第12師団、陸軍歩兵第46連隊
	長崎県川棚町	海軍工廠
京ノ岳対空電波基地	長崎県南松浦郡三井楽町	西部防衛隊対空電波小隊
陸軍太刀洗飛行場目達 原分教所	佐賀県神埼郡三田川町、 三養基郡上峰町	
	大分県玖珠郡玖珠町、 九重町、大分郡湯布院 町、宇佐郡安心院町	
	大分県別府市、速見郡日 出町、山香町	
佐伯海軍航空隊	大分県佐伯市	331空、931空、933空
	熊本県上益城郡矢部町	
	熊本県菊池郡合志町、西 合志町、菊陽町	
陸軍幼年学校	熊本県熊本市	
陸軍吉松演習場	宮崎県えびの市、鹿児島 県始良郡吉松町	軍馬補充部
	宮崎県都城市	歩兵第23連隊
新田原陸軍飛行場	宮崎県児湯郡新富町	熊谷陸軍飛行学校 新田原分教所 大刀洗陸軍航空廠分廠 川島（落下傘部隊）
	鹿児島県曾於郡末吉町、 財部町	
	鹿児島県国分市	
	鹿児島県大島郡瀬戸内町	海軍瀬相防備隊
海軍特設見張所	鹿児島県大島郡知名町	
沖永良部島防衛隊	鹿児島県大島郡和泊町	旧軍独立混成団第21 聯隊第3大隊
鹿屋航空基地	鹿児島県鹿屋市	第5航空艦隊
小禄海軍飛行場	沖縄県那覇市（島尻郡小 禄村）	第4海上護衛隊沖縄方面根拠地隊
日本帝国海軍仮電波探 知見張所	沖縄県島尻郡久米島町	沖縄根拠地隊久米島廠部隊
	沖縄県浦添市	
	沖縄県那覇市	
	沖縄県平良市 沖縄県宮古郡上野村	陸軍第28師団司令部
	沖縄県中頭郡北谷町	
	佐敷村、大里村	
中・西飛行場	（宮古）	
平得海軍飛行場	（八重山）	
	与那城村	
北飛行場	沖縄県中頭郡読谷村	第32軍第24師団防衛築城隊
伊江島飛行場	沖縄県中頭郡読谷村	
	勝連町、与那城町	陸軍戦車部隊
中飛行場	北谷町、沖縄市、嘉手納 町	第32軍南西諸島防備軍
琉球射爆撃場	沖縄県島尻郡久米島町	

別表4 その他の情報

	都道府県		文献等	証言	事案の概要等
1	1北海道	-	1	(匿名)	「終戦時に、飛行場の地下壕に毒ガス弾を積み上げ、出入り口を爆破して封鎖した。美幌の毒ガス弾を北海道の湖に投棄したと伝え聞いた。」との証言
2		-	2		「戦後、解が爆発した件の情報が寄せられた(毒ガスに関連するかは不明)。」との証言
3	4宮城県	-	1		「仙台市内の旧歩兵第4連隊における毒ガスの取り扱ひ情報」の証言
4	8茨城県	-	1		「昭和20年1月に水戸の42部隊(工兵隊)に配属され、ガス兵として訓練を受けた。」との証言
5		-	2		「昭和11年頃に波崎町宝山の海軍の爆撃演習場でガス弾の演習を行われ、その手伝いをしていた。」との証言
6		-	3		「鹿島の爆撃場」や「鹿島には爆撃実験用のコンクリートの大きな建物」が存在して、そこで毒ガス実験を実施した。」との記載
7	12千葉県	-	1		「近衛第3師団による捷3号作戦の準備計画(S20.2.10)における赤筒配備計画(一ノ宮拠点)千葉県:小あか筒3325発(東金拠点)千葉県:小あか筒3325発(八日市拠点)千葉県:小あか筒3325発(飯岡拠点)千葉県:小あか筒3690発+924発(予備)(八街拠点)千葉県:小あか筒5500発(師団予備)場所不明:小あか筒4236発」との記載
8		-	2		「戦友から毒ガスを海中投棄したようだとの話を聞いた。」との証言
9	13東京都	-	1		「昭和20年に、九段で毒ガス弾の実弾訓練を受けた。」との証言
10	14神奈川県	-	1		「昭和19年から20年の間の8ヶ月間、仲間100名とともに相模海軍工廠寒川本廠に学徒動員され、イペリット製造に携わった体験がある。」との証言
11		-	2		「ワシントンの国立公文書館で第二次大戦中の日本海軍の毒ガス兵器研究、生産などについてまとめた米軍の報告書が見つかった。」との記載
12		-	3		「相模海軍工廠、平塚:(NDL-R-2の以下の数値と同様)Navy Production of agents. 寒川での月生産能力(総生産量) P.37:M 80(CA, 600)tons, DPCA 20(120)tons, L 小規模パイロットプラント(10)tons, CA 30(120)tons。」との記載
13		-	4		「ガス及び兵器貯蔵リスト:CW3-6寒川 M弾 314, M 42.15t, DPCA 23.85, CA 1.00平塚 M弾 17, 缶1035, M 0.1, L 6.53, DPCA 72.80錦 CA 39.00大湊 M弾 ca 3000呉 M弾 ca 15000耶馬溪 M弾 ca 5000佐世保 M弾 ca 5000舞鶴 M弾 ca 5000池子・瀬谷 M弾 ca 10000, 缶 ca 30000」との記載
14		-	5		「民間企業の事務員として勤務していましたが、陸軍技術研究所吉浜出張所に接收された後も、引き続き事務員として、研究所員の旅費や倉庫・衣服の在庫管理等を担当していた。」との証言
15		-	6		「民間企業が、戦時中に軍の研究所として接收され、食事の賄いを手伝いました。」との証言
16		-	7		「昭和14年から平塚化学実験部に勤務し、昭和18年3月に寒川の海軍工廠に移ったが、昭和19年8月に軍に召集された。」との証言
17		-	8		「昭和19年2月4日から同年9月(もしくは11月)までの間、徴用工として、寒川の相模海軍工廠で勤務した。」との証言
18		-	9		「海軍工廠(舞鶴、平塚、寒川、仙台)の養成所(平塚)21期生として1年5ヶ月教養を受けた。」との証言
19		-	10		「陸軍兵器学校で2年間教養を受けたが、その間、イペリットを腕に注射されるなど生体実験を受けた。」との証言
20		-	11		「寒川海軍工廠で昭和19年に勤務していた。主に製造していたのは毒ガス爆弾だった。」との証言
21		-	12		「民間企業に勤労働員され、ダムダム弾を製造していた。その時、その一部の製品を相模海軍工廠平塚化学実験部に2回運びこんだ。」との証言
22		-	13		「毒ガス弾の実験を各地で実施していた。」との記載
23		-	14		「呉亀ヶ首、鹿島、平沙浦や辻堂、平塚海岸での野外実験が次々行われた。」との記載
24		-	15		「戦後、砲術学校に毒ガス削らしきものが放置されていた」との証言。その後、この証言を受け、跡地付近と推定される場所を調査したが、毒ガス弾等の不審物はなかった。
25		-	16		「建築現場の土中からイペリットガス弾らしき空の砲弾86発が発見された。」との記載
26		-	17		「民間企業で、建物解体のため倉庫内を清掃中に発見した。不審物は、木箱に入った瀬戸物製の容器で、木箱の外面に「元軍関係の品 特製容器一個48, 2, 8」と記載されている。民間企業で検査したところ、容器の中には中身はなく、物を入れた痕跡も認められなかった。危険性物質が存在しないことから、民間企業で処分することとなった。」との記載
27		-	18		「昭和19年から20年の間の8ヶ月間、相模海軍工廠寒川本廠に学徒動員され、イペリット製造に携わった体験がある。」との証言
28	18福井県	-	1		「戦時中に福井県内で毒ガスの訓練を受講した。」との証言
29	20長野県	-	1		「終戦時に陸軍と思われる集団が秘密裏にある物件を軍用車両で運搬し、舟艇で青木湖に水没作業を行ったという話を知人から何度も聞かされたことがある」との証言
30	22静岡県	-	1		「昭和20年夏に三方原にある毒ガス研究施設において毒ガス防護の訓練に参加した。」との証言
31	24三重県				「終戦時に「口号液」という毒物を防空壕に沢山運んだとの話を聞いたことがある」との証言
32	27大阪府	-	1		「旧軍の毒ガス弾の廃棄に係った人が知人にいる」との証言
33	28兵庫県	-	1		「戦時中に毒ガスの訓練を受けた。」との証言
34	33岡山県	-	1		「あか筒49本残存。」との記載
35	34広島県	-	1		「昭和5年より広島県竹原市の沖にある大久野島で毒ガス弾等を作る作業に従事していた。」との証言
36		-	2		「亀ヶ首でくしゃみ性ガス・催涙性ガス弾の甲板貫通試験を実施。」との記載
37		-	3		「毒ガス弾(イペリット弾)の試射試射は1回だけで、当該箇所に毒ガス弾等は残されていない。」との証言
38	35山口県	-	1		「周防灘の水深15~20mくらいの海底で、1箇所あたり砲弾が1~2m程度の高さに盛られた状態で、2~3箇所に並んで放置されていた。」との証言
39	37香川県	-	1		「善通寺で毒ガスの訓練を受けた。」との証言
40	41佐賀県	-	1		「終戦時に毒ガス弾(疑い)入りの木箱を廃棄した」との証言
41	横須賀海軍軍需部(北浦出張所)				「手投液弾309個保有」との記載